

テキストを使った効果的な学習方法

受けたレッスンを復習することで、ある程度理解できていることを再確認でき、しっかり身につけることができます。ここに載っていることを全てする必要はありません。できそうなものからチャレンジしてみてください。



1 すぐに日本語を確認しない

英語が聞きとれない、またリーディングが苦手、という人も多いと思いますが、これは「推測力」が欠けていることが一因です。

NOVAのテキストやマテリアルには日本語が使われているものも多くありますが、すぐに日本語訳をチェックするのではなく、ヒントを手掛かりに内容を推測する練習をしてみましょう。会話文についている写真からイメージしたり、知っている単語から読み解くことで、英語を英語で理解する力がついてきます。



2 クラスメートの話もしっかり聞く

英会話とは一方的に質問したり、単に言いたいことだけを言う、という意味ではありませんよね。コミュニケーションとはお互いの意思疎通をいいます。レッスン中も、クラスメートが言っていることをしっかり聞くことで、会話の流れや、やり取りをきちんと理解し、身につけていけます。また、クラスメートが知らない言葉や表現を使っていたら、メモを取って自分のものにしてしまいましょう。



テキストを使って、復習しよう!



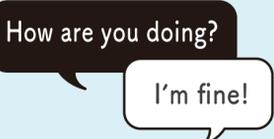
3 CDを使って復習

テキストのこのマークの箇所はCDに録音されています。ナチュラルなスピードで録音されていますが、文字を目で追いながら、その後慣れてきたらテキストを閉じて聞くことでどんどん英語に耳が慣れてきます。毎日少しずつでも繰り返し聞くことで、確実にリスニング力はアップします。



4 会話文を使って復習

テキストには多くの会話文が掲載されています。これをまずはすらすら言えるようになるまで音読します。次に声に出して読みながら書き写しましょう。こうすることでスペリングも覚えられて一石二鳥です。それができるようになれば、最後は暗記して、声に出して読みながら書き出します。ここまでできるようになればきちんとその英語を使いこなせます。



5

5d-36 What's your favorite food?

> Practice
First ask your instructor questions, and then ask each other. 講師に質問をし、それからお互いに質問し合います。

A. B. C. D. E. F. G. H.

> Production (p144)
Complete the conversation and practice. 会話を完成させ、練習しましょう。

A: ()
B: () . How about you?
A: () . I could eat () every day.
B: Really?

> Word Bank

sushi 寿司	pizza ピザ	tacos タコス
steak ステーキ	noodles 麺類	fried chicken フライドチキン
cake ケーキ	potato chips ポテトチップス	

> Point
数えられない名詞には単数の代名詞を、数えられる名詞の複数形の時には複数の代名詞を使います。
数えられない名詞 I love curry. I could eat it every day.
数えられる名詞 I love noodles. I could eat them every day.

p79

5 Practiceを使って復習

Practiceにあるヒントを使って、レッスン中に使わなかった(言わなかった)文章を作って言う練習をしてみましょう。これも左ページの「会話文を使って」と同じように、音読したり、書いたりすることで、しっかりと身につけることができます。

6 Productionを使って復習

メインの会話文とは違うパターンの会話を作ったり、グループレッスンであれば、クラスメートが言っていた会話を思い出して書き出してみましょう。基本さえしっかり覚えていれば、あとは応用力をつけていくことで、何通りもの文章を作り出せるようになります。パターンの違う文を作れるようになれば、応用力がついている証拠です。全部のやり取りは難しくても、少しずつトライしてみましょう。



7 Resourcesを使って復習

Word Bank

上記Productionで違うパターンを作るヒントになりますし、語彙力をつけていくのに最適です。日本語訳が載っていたとしても「英語、日本語」の組み合わせで覚えるのではなく、できるだけそのレッスンで出てきた文章に入れ替えて覚えましょう。こうすることでその単語の使い方がよく理解できるようになります。

Point

書かれてある例文を覚えたり、文を書き換えてみたり、辞書を引いて、辞書にはどのような例文が書かれているか確認してみましょう。こうすることで表現の幅が広がりますし、言葉の使い方などを深く理解することができます。

